

タケシ風パロディ：町人国家日本の卑屈な接待外交

微に入り細にわたる日本の「おもてなし」は世界に稀にみる美德だけども、これに政治的な魂胆が絡んでくると意味が変わるんだな。政治の世界じゃ、いくら接待にお金をかけたって、外交方針が変わることなんてないんでさ。大げさな接待を準備すれば、逆にその魂胆を勘ぐられるんでね、だからプーチンなんかは、当て付けがましい接待を知っていたから、わざと何時間も遅れて山口へ到着したもんね。

トランプの場合はその逆でさ、トランプ一家のご機嫌取りの過剰な接待は、トランプ一家、ひいてはアメリカへの全面的な恭順の意を表すものと受け取られたね。要するに、議論することもなく、アメリカに全面降伏したということだな、日本は。「すべて、仰せの通りでございます」、とね。

いくら日本食が世界に誇ることができる食文化だと言ってもさ、それを本当に賞味できる外国人なんて、そんなに数がいるわけないんだよ。アングロサクソン系なんぞは、日本人のように、食べることにそれほど拘りがなくてね、料理のうちに入らないハンバーグが好物のトランプなんかには、日本料理など理解することは不可能さ。なにしろ、ハンバーグが世界で一番旨い食べ物だと思っている食音痴だからね。名人シェフが料理したってその価値が分かりっこないんだよ。文化的素養や趣味に欠ける知性のない政治家には、料理のもてなしなんて、「猫に小判」、欧米風に言えば「豚に真珠」ってとこだな。

ようするに、「これだけ接待してんだから、良いことしてくれるよね」というのは日本人にだけ通用する「常識」だね。良い飯を食ったぐらいで、基本方針を曲げたりすることなんてあるはずもないさ。もっとも、今回は生食を好まないトランプ一家のために、特注ハンバーグや牛肉のオンパレードだったようだがね。飯だけで食音痴を喜ばせるのは難しいから、トランプが好きなゴルフでご機嫌を取ろうとしたんだな、安倍さんは。

もっともさ、アメリカに諂（へつら）うだけの外交なら、襟を正して正面から議論する話もないんでね、せめて日本のおもてなしをたっぷり楽しんでもらって、機嫌を取ろうってとこだな。「沖縄の基地をどうするのか、日米地位協定をどうするのか、アメリカは勝手に北朝鮮への武力行使に踏み切ってはいけない」、っていう話を正面から切り出す熱い思いなど、安倍さんには一欠けらもないからね、一国の首相がアメリカの大統領と何を話しかけたのかなんてほとんど話題にならないってわけさ。ゴルフや「銀ぶら」の話、ゴルフ場でどんな特注バーガーをだしたかとかさ、どこのレストランでどんな料理を食べたかって話だけでもんな。挙句の果てに、公式晩餐会に「ピコ太郎」を招待するなんて、あまりにトランプ一家に媚びた卑屈な接待で、とても独立国の外交とは言えないね。誠心誠意、接待に努めていますってところを見せて、トランプ一家のご機嫌取りをやっていりゃ、全面的な恭順の意思を表明しているとしか見られないね。だから、トランプも調子に乗って、安倍さんへの記者

質問に勝手に答えて、「後でミサイル対処に必要な武器を買ってもらうからな、いいだろう、Shinozo」ってなもんよ。安倍さんはアメリカの言い値で武器を買う御用商人扱いだもんね。情けないね、これが日米「同盟」の真実さ。戦後70年を経ても、日本は目下の同盟者なんですね、それをまざまざと見せてくれるのが、安倍自民党の対米外交だね。

もっとも、安倍さんの頭には独立や自立という観念そのものがないんだよな。単純に、仲良くしていれば、「同盟」だと思っただろうね。自立とか独立という観念も概念もないから、根っからの属国宰相ってところだな。まさに属国政治家の面目躍如だよ。「週刊新潮」の「米中韓のメディアが冷笑！『安倍総理』は『トランプ父娘』の靴を舐めたか」は正論だね。こういう外交を可笑しいとも思わないマスコミも国民も世界の田舎モンさ。欧州の政治じゃ、絶対にあり得ない卑屈な接待外交だよ。だから、トランプも、好き放題に振舞って気持ち良く気軽に観光気分で日本に来れるってわけさ。政府の累積赤字が積もりに積もっているのに、公金を垂れ流して、トランプ一家に接待の限りを尽くさなけりゃならない義理がどこにあるのさ。トランプ自身がいつまで米国大統領に椅子に座ってられるかも分かんないのにさ、トランプが失脚したら、日本は世界の笑い物になるね。それみたかって、さ。虎の威を借りる属国外交の結末だね。

それにしても、ゴルフ外交って言うけどさ、ありゃ一体なんなのさ。トランプがラウンドしたかったのは松山選手で、下手くそな安倍首相じゃないってことが明々白々だったね。だってさ、1番ホールで安倍さんがまだバンカーから抜け出だしたところなのに、トランプと松山選手は談笑しながら次のホールに向かってさっさと歩いているもんね。だからホールアウトもしていない安倍さんは慌ててしまって、追いつこうとバンカーの一番高い壁を駆け上ったのは良いが、エッジに足をかけた途端に、バランスを崩してひっくり返ってバンカーに逆戻りだもんね。「体調が悪いのか」なんて報道があっけど、置いてきぼりになって慌てただけのことさ。

このずっこけ動画がネットの世界に広まって、首相官邸も慌てたようだな。「ゴルフ談義をやっていたのはトランプ大統領と松山選手で、安倍首相はあっちこっちと球を追いかけていただけ」という真実を知られたくないということさ。いろいろ手を回して削除してもらおうと思ったけどさ、今のネット時代にそんなことができるわけないんでね。そんな噂が流れば、ますますネットで拡散されるってことだよ。ゴルフの後で、安倍さんは「難しい話もできました」なんて言ってたけどさ、簡単な話すらできる余裕もなかったというのが真相なんでね、格好をつけただけだよ。そうでも言わないと、「どうして一国の首相が、トランプと松山選手のゴルフ遊びの接待役になる必要があるのか」ってことになるんでね。一国の首相はゴルフのボールボーイじゃないんでね、トランプと松山選手の尻を追いかけるゴルフ外交なんて、世界の恥さらしだよ。

もっとも、日本でゴルフを希望したのはトランプだったようだね。しかも、松山選手の名を出してさ。それほど松山選手とゴルフがしたければ、アメリカで個人的に招待すれば済む

ことなんでね、どうして公式訪問で日本に来てまでゴルフをする必要があるのかね。そういう要求を断れない政府も、情けないね。とくに議論することがないから、この際、ゴルフで楽しんでもらうかということかね。こんなの、どう考えても独立国の外交じゃないね。

公式訪問する一国の元首が日本に最初に要求したのが「松山選手とのゴルフ」っていうのも、まともな政治家が要望することじゃないね。観光に来るんならわかるよ、でも公式訪問だろう。何のために日本を訪問したのかね。ふざけているね、というよりなめられているね、日本は。安倍さんにしても、難しい話をするより、芸者の代わりにゴルフ選手を当てがって、ご機嫌を取る方が気楽だってことだな。こんなの外交なんて類のものじゃないね。ヨーロッパでは絶対にありえない話だな。それを微笑ましく見守る日本人は、世界の政治音痴というところだな。トランプにとって、日本ほど御し易い国や政治家はほかにないさ。このゴルフ接待のために、警備費を含めて、いったいどれだけの経費がかかったのか知りたいね。

そもそも、「主権国」を公式訪問するのに、大統領専用機がアメリカの軍事占領基地である横田基地に到着するなんて、日本も舐められたもんだな。要するに、占領基地から日本の地へ足を踏み入れたってことだよ。アメリカ兵を前にトランプが叫んだって言うじゃない、「世界を支配しているのはアメリカだ」、って。日本は未だにアメリカの占領国だという感覚なんだよな。繰り返しトランプに恭順に意を表し続ける Shinzo の日本は、徹底して見下されてるってことだよ。日本は対米主権国ではなく、対米従属国だということを今更ながらに知らされたね。軍事基地から米軍のブラスバンドの演奏をバックにヘリコプターに乗り込んだ大統領が、最初に向かった先がゴルフ場だなんて、馬鹿にするのもほどほどにして欲しいね。「Shinzo が来てくれっていうから、来てやったんだ」ということなんじゃないの。こうやって、日本はアメリカの占領国家で、アメリカの庇護の許に日本は育ったってことを態度で示したんでね、こういう好き勝手な振る舞いに、政府・外務省は何も言えないしできないのが真実さ。何が日米同盟かね。戦後 70 年たってもアメリカへの従属関係が継続していることだよ。

今の若い日本人は、アメリカ軍は日本を守るために駐留していると思っているだろうが、アメリカの戦後占領が形を変えて継続しているだけなんだよな。アメリカはアジアへの睨みを利かせるために、占領基地を日本に返還することなく、基地を引き続き使用するために日米安保条約を結んだんでね、何も日本防衛のためじゃないさ。戦後世界の支配者になったアメリカはアジアでの民族独立運動の勃興を許さず、ヴェトナム戦争をしかけて 300 万人以上のヴェトナム人を殺害した事実は、戦後最大の殺戮行為で、アメリカにとっても触れられたくない恥辱なんだよ。その大量殺人のために日本のアメリカ軍基地が最大限に利用されたことを忘れてはならないんでね、日本人は。アジア人の大量虐殺のために、日本の基地が徹底的に利用されたことにたいして、日本人は責任を免れることはできないさ。ヴェトナム人大量虐殺への痛みも感じることなく、再びアメリカが北朝鮮への軍事攻撃を準備していることを支援するなど、あってはならないことさ。広島・長崎への原爆投下や、東京を

含めた地方都市への空襲と同じことさ。「政権が狂っていれば、一般市民を殺戮しても構わない」っていうアメリカの論理は許されないことをはっきりしないとね。

こういうことを理解できる日本人はもう一握りなんだろうな。ネットじゃ、「アメリカ大統領とゴルフができる安倍首相の外交力はすごい」っていうバカな奴が多いけど、あまりにアメリカべったりなんで、何が独立国として基本的な振る舞いなのかってことさえ、分からなくなってんだよな、政治家も国民も。「屈辱」という言葉も忘れてしまっているじゃないかと思うね。韓国や北朝鮮を批判する時だけは、やけにプライドが高くなるんだけどね、アメリカになると平身低頭だよ。「なあ、Shinzo、そうだろう」、「へい、仰せの通りでございます」。卑しいね、日本の外交は。

屈辱から始まってゴルフ接待で嬉々としている安倍外交なんて、朝貢外交というより、町人国家の卑屈な属国外交だよ。日本人の外交音痴が世界の嘲笑の的になっているの分らないんだよな。政治家も国民も。悲しいね、おしまい。